



北海道を車で走った人なら見覚えがある看板ですよ。 「ホクレン」のマークです。ただのガソリンスタンドではなく、「ホクレン農業協同組合連合会」が正式名称です。

いま牛乳は… (後)

乳製品値上げの新聞記事(前号)は、バターやチーズが6~8%ほど値上げになることを報じています。そして「飼料高が要因」とも書いてあります。

いっぽう、やはり前号からですが、酪農家の発言によれば、生産者乳価の値上げはキロ3円。およそ3%の引き上げにすぎません。

乳業メーカーは「飼料高」を理由にして値上げするくせに、直接影響を受けて苦しんでいる農家に還元するのでなく、便乗値上げでさらに儲けを増やそうというのかあ!?

これまた前号で紹介した新聞「農民」の紙面で発言が紹介されている北海道の石沢さん。たまたま何度も訪ねたことがある方だったので、今回いきなり電話をかけてみました。その聞きかじりから…

＊

いわゆる内地で生産される牛乳は基本的に飲用乳として消費されま



北海道厚岸町の石沢さん

す。これとちがって北海道で生産される牛乳は、大部分がバターやチーズといった加工品に向けられます。

そして同じ牛乳なのに、用途によって価格はちがってきます。おおよその数字で、飲用向けはキロ90円、バター用は70円、チーズ用が50円だそうです。

生産された牛乳はすべてホクレン(上記)に出荷され、そこでプール計算されて農家に支払われます。これまではキロ68円でした。それが、この4月からは少し上がって、72円くらいになると見込まれています。



里のギャラリー ⑥

ただしこの程度の値上げでは、とても飼料高騰には追いつきません。

＊

前に、ペットボトルに入れた米の価格を試算した記事を書きました。水を買うと140円ちかくするのに、米の出荷価格は100円たらず。せめて水並みの値段で出荷できれば農家は採算があうんだけど…と。

同じことを牛乳に当てはめると、500mlのペットボトルで北海道の酪農家の手取りは35円くらいにかなりません。(水の1/4かあ!?)

これを、せめて40円に。つまり、キロ10円は上げてほしいというのが酪農現場からの待ったなしの要求です。

牛乳を飲むとき、チーズを食べるとき、思い出してください。

今年もレンゲノウ

じつは昨年秋、レンゲの種まきができませんでした。それでも、7カ所あわせて2ha(6000坪)ほどでは、自生したレンゲが花が咲きはじめました。例年どおり、5月の連休が終わるまで耕うんしないでおきます。寝っ転がったり、花を摘んだり、ご自由にどうぞ。

